

開催日時 開催場所	日時：2018年1月17日（水）16:02～16:20 場所：マツダ病院 外来棟5階 会議室1
出席委員名	住居 晃太郎、西原 昌幸、辻 英之、大成 洋二郎、川本 行彦、田中 正宏、尾崎 仁美、矢野 礁風、吉田 正樹、原田 靖子、森川 記道、永谷 薫、服部 聖
議題及び審議結果を含む主な議論の概要	<p>【審議事項】</p> <p>審議事項① 杏林製薬株式会社の依頼による間質性膀胱炎患者を対象としたKRP-116Dの第Ⅲ相検証的試験</p> <p>当該試験薬で発生した重篤な副作用についてこれまでに得られている安全性情報に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</p> <p>審議結果：承認</p> <p>審議事項② 心不全患者におけるダパグリフロジンの効果を検討する第Ⅲ相試験</p> <p>当該試験薬で発生した重篤な副作用についてこれまでに得られている安全性情報に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</p> <p>治験に関する変更（治験分担医師変更）について、引き続き治験を継続することの妥当性について審議した。</p> <p>審議結果：承認</p> <p>審議事項③ 左室駆出率が低下した心不全（HFrEF）患者を対象に、経口 sGC 刺激薬 vericiguat の有効性及び安全性を検討する無作為化、並行群間、プラセボ対照、二重盲検、イベント主導型、多施設共同、ピボタル、第Ⅲ相、臨床アウトカム試験</p> <p>当該試験薬で発生した重篤な副作用についてこれまでに得られている安全性情報に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</p> <p>治験に関する変更（治験分担医師変更）について、引き続き治験を継続することの妥当性について審議した。</p> <p>治験期間が1年を超えるため、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。</p> <p>審議結果：承認</p> <p>審議事項④ 旭化成ファーマ株式会社の依頼による骨折の危険性の高い原発性骨粗鬆症に対するMN-10-T AIの第Ⅲ相臨床試験</p> <p>当該試験薬で発生した重篤な副作用についてこれまでに得られている安全性情報に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</p> <p>審議結果：承認</p> <p>【報告事項】</p> <p>報告事項① その他</p> <p>当院で実施中の試験における全国進捗について報告した。 2018年1月より谷口先生に代わり原田先生が委員になっておりますのでホームページの委員名簿を更新いたします。</p>
特記事項	特になし